

PBISの学校への導入時の工夫についての研究

福浜中学校 PBIS 研究会

活動の目的

福浜中学校では、各学期全校生徒対象のアセス（学校環境適応感尺度）を実施している。その結果を見ると、自己肯定感につながる生活満足感や向社会的スキル、学習的適応の低さや学級集団の成熟度が低いことがわかる。また、授業放棄や器物破損などの問題行動の発生も多々ある。そこで2016年度よりPBISに全校で取り組みはじめた。それは、問題行動を注意叱責することで、生徒の問題行動を減らす教育では、救いきれない生徒が多数いる現状を、良い行動をした生徒の行動を「グッド ビヘイビア カード」を渡すことで褒める教育に転換することで、生徒の問題行動を減らし、自己肯定感を高め、進んでよりよく生きようとする生徒を育成することにつながると考えたからである。

活動の内容及び経過

2017年度には、教員が「グッド ビヘイビア カード」を渡すよい行動の規準となる「行動チャート」づくりを進めた。全職員で場所別時間別に良い行動をポジティブな言葉で表す「行動チャート」の作成である。その手順は、まず福浜中学校生徒に求める4つの大切なことを決めた。それは、①学びを大切にする。②自分や友達を大切にする。③物を大切にする。④ルールや礼儀を大切にする。の4つである。この4つの大切を校内のいろいろな場所に掲示した。次に、場所別に良い行動を「4つの大切をもとに考えた。考えた場所は、教室・廊下・体育館・図書室などである。完成した「行動チャート」も校内のそれぞれの場所に掲示した。

また、本校での取り組みを岡山市全体、岡山県全体、日本全体に広めることをねらい、PBIS研究会 (<https://pbisparty.jimdo.com/>) で本校の取り組みを研究者および教員に発表した。ネットでの発信も、「教職ネットマガジン」 (<https://kyo-shoku.net/>) という教員向けサイトを利用し、行った。

活動の成果・効果

全教員で褒める基準「行動チャート」を作成し、生徒に見える形で掲示した上で「グッド ビヘイビア カード」を渡すという褒める指導に取り組んだ結果、授業から逃避する生徒や問題行動の激減など一定の成果を上げた。また、アセスの学校環境適応感の教師サポートも統計的に有意な上昇が見られた。また、学習面でも、全国学力学習状況調査の無解答率が大きく下がった。岡山市独自の取り組みで中学2・3年生が受検する「学力アセス」でも、無解答率が大きく下がった。



今後の課題と問題点

この成果を継続するためには、中学校区の小学校や地域に活動を広げる必要がある。中学生が過ごす時間は、中学校ばかりでなく、地域社会で過ごす時間も多し。地域の大人が中学生の良い行動を褒める（「グッド ビヘイビア カード」を渡す）教育を中学校と共に担ってくれば、地域全体でよりよい方向へ向かうことと思える。また、12歳で中学校に入学する以前の教育を担う小学校およびその前段階の幼稚園や保育園にも、同様に子どもの良い行動を褒める活動を広めていくことができれば、長いスパンにわたって生徒を同じ考えで教育することができる。

そこで、町内会へ活動を広げ、グッド ビヘイビア カードを地域の方々が良い行動をした生徒に渡す取り組みをはじめたい。2018年度には、中学校区の地域の町内会の方々にも活動に参加していただくよう計画したい。（グッド ビヘイビア カードを地域の方々が良い行動をした生徒に渡す取り組み）

- 代表者：福田聡 ●所在地：岡山市南区三浜町
- TEL：086-262-1178
- 設立年：2016年 ●メンバー数：8名